

宇土市庁舎建設基本構想

資料編

宇土市新庁舎基本構想 資料編

目 次

資料 1	宇土市庁舎建設基本構想（案）	1
資料 2	宇土市庁舎建設基本構想（案）に関する答申.....	13
資料 3	宇土市新庁舎建設に関するアンケート調査の結果.....	15
資料 4	宇土市庁舎建設市民ワークショップでの意見.....	29

資料編

資料 1 宇土市庁舎建設基本構想（案） . . . 平成 27 年 11 月作成

はじめに

現庁舎は、昭和 40 年 5 月の竣工から 50 年経過しており、平成 15 年度に実施した耐震診断では、「震度 6 強程度の地震では大きな被害を受ける可能性が高い。さらには、複雑な構造が故、耐震補強が困難であり改築を勧める」という判定を受けております。

そのような耐震診断結果という事もあり、市では今後新庁舎建設について検討していくこととしました。

新庁舎建設にあたっては、基本的な考え方として、①高い耐震性や安全性を確保し、水道や電気等ライフラインが途絶えた場合でも、防災・災害時の拠点、また、司令塔として機能し続ける重要な施設②市民が利用しやすく親しみを感じる市のシンボリックな施設③市民と行政の協働、また、市民同士が交流できる場所がある施設であるということを前提に検討しております。

1 基本理念・基本方針

(1) 基本理念

第5次宇土市総合計画で定められている「安心・元気・協働」を実現するため、庁舎は市民の安心・安全を確保するための防災拠点であることはもちろんのこと、市民が交流や集いの場として協働し、長く親しまれる拠点として庁舎建設の基本理念を次のとおりとします。

- ①市民の安心・安全の拠点となる庁舎
- ②利用しやすく親しみを感じる庁舎
- ③まちづくりの拠点となる庁舎

(2) 基本方針

新庁舎建設の基本理念に基づき、その内容をより具体化するための基本方針を次のように定めます。

①市民の安心・安全の拠点となる庁舎

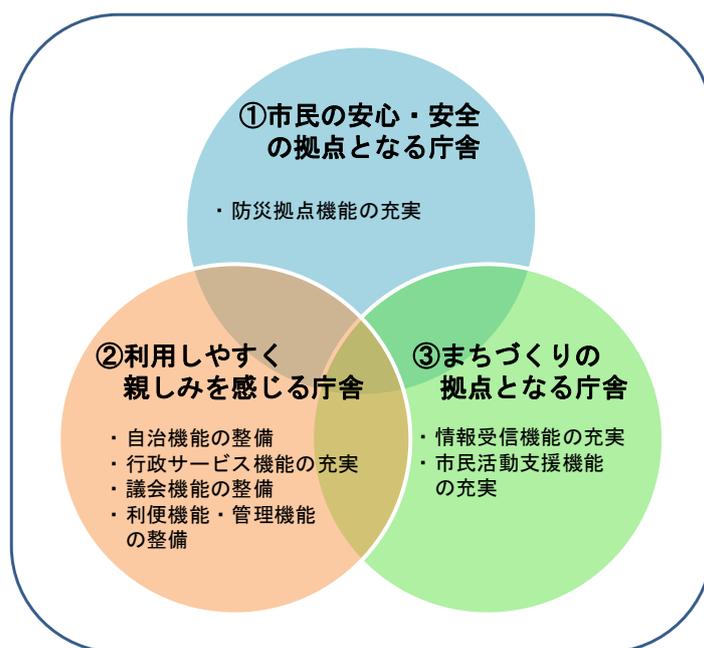
- ・防災拠点機能の充実

②利用しやすく親しみを感じる庁舎

- ・自治機能の整備
- ・行政サービス機能の充実
- ・議会機能の整備
- ・利便機能・管理機能の整備

③まちづくりの拠点となる庁舎

- ・情報受信発信機能の充実
- ・市民活動支援機能の充実



2 新庁舎の機能に関すること

基本方針を具現化するために、新庁舎に求められる機能として、次の考え方で整理しました。

「新庁舎の機能」＝「現庁舎の機能」＋「現庁舎の問題点」であることを前提に、
「現庁舎の問題点」＝「新庁舎に加えるべき機能」と考え、この「新庁舎に加えるべき機能」について何が必要かを特に検討し、新庁舎に必要な機能を以下のとおりまとめました。

(1) 防災拠点機能の充実（災害防止、被害拡大の防止、応急復旧等のための機能）

- ①災害対策本部の適正配置
→危機管理課執務室とスムーズに連携が取れる場所へ設置します。
- ②通信施設の適正配置
→災害対策本部及び危機管理課執務室に隣接するよう設置します。
- ③非常電源設備の適正配置
→水害時に影響のない場所へ設置します。
- ④備蓄倉庫の設置
→災害時に備え、必要な生活物資を蓄えることができる備蓄倉庫を設置します。

(2) 自治機能の整備（政策立案、政策執行のための機能。ex. 執務室、会議室、電算室、書庫、倉庫等）

- ①執務室は広さが十分にあり、同じ部に属する課が同一フロアにあること。
→現在、同じ部に属する課が違うフロア、建物にあることを改善します。
- ②大、中、小の会議室が十分にあること。
- ③書庫を庁舎内に設置し、文書保存に適した設備を備えること。
→文書検索の利便性を高めるとともに、空調設備、耐火及び消火設備を備え、市民との共有財産である公文書の保存に適したものとします。

(3) 行政サービス機能の充実（窓口サービスのための機能）

- ①窓口の集中化
→一般的な来庁者が庁舎1階で全ての手続を済ませることができるものとします。
- ②窓口カウンターの改善
→窓口カウンターを来庁者のプライバシーに配慮したものとするとともに、高さを低くし、利用しやすいものとします。同時に、わかりやすいサインやピトグラムを設置します。
また、子どもを連れた市民が落ち着いて窓口での手続を行えるようキッズスペースを設置します。

(4) 議会機能の整備（審議，議決のための機能）

→市民の声を市政に反映し，民主的な議会運営を進めていくために，基本となる議場，協議会室，委員会室，議長等室，各会派室，図書研究室のほか，議員が市民の相談を受けるスペースを設けます。

(5) 利便機能・管理機能の整備（ex. 福利厚生施設，駐車場，警備室等）

①売店

②駐車場の適正配置

→公用車専用の駐車スペース並びに来庁者及び職員の利用状況に応じた駐車可能台数を確保します。

③警備機能

→庁舎には重要な個人情報，個人の権利等に関する書類が多くあります。閉庁日，夜間の出入管理に対し，徹底したセキュリティーを確保します。

④その他利便機能 図書館，授乳室，多目的トイレ等

→市民にとって，親しみがあり，利便性に優れた庁舎となるため，その他の公共施設を集約するなど，財政面も考慮しながら複合施設としても検討します。また，お年寄りや障がい者，乳幼児を連れられた来庁者でも，気軽に利用できるようなユニバーサルデザインの設備環境に整えます。

(6) 情報受信発信機能の充実（開かれた行政及び行政情報の提供のための機能）

→1階ロビーのスペースを拡充することにより，情報公開コーナーを充実させます。

(7) 市民活動支援機能の充実（市民と行政がともに考え，情報を共有し，政策創造を実現するための機能及び市民が気軽に利用でき，親しまれるための機能）

①市民活動団体の活動の場の提供

→市民と行政がともに考え，情報を共有し，政策創造を実現するため，庁舎内に市民活動団体が気軽に利用でき，それらの団体と市職員，それらの団体同士が話し合える場を設けます。

②市民同士が交流を深めるための場として，市民ギャラリー・展示スペースを設けます。

3 新庁舎の規模に関すること

(1) 新庁舎の規模

- ・新庁舎 **10,000㎡程度**と想定します。

※上記面積規模は、行政機能のみで算出しています。新庁舎を複合施設として考える場合には、上記面積より増えることとなります。

(2) 想定する規模の根拠

新庁舎を建設するにあたっては、災害や震災等の防災拠点としての機能及び情報化への対応並びに充実した市民サービスを行うための機能空間等を考慮する必要があります。

また、市民同士が交流を深める場所や来客用打合せコーナー等の面積も必要と考えられます。そこで、本市と同規模自治体で近年庁舎建設を行った先進事例を調査した結果、職員1人当たりの平均床面積は約34㎡でありました。

このことを踏まえ、算出した新庁舎の規模は、**10,000㎡**と想定しました。

《計算式》

◎前提条件…本庁舎職員予定数を292人と仮定

$$\cdot 292人 \times 約34㎡/人 = 9,928㎡$$

《新庁舎建設の参考事例》

■同規模の市庁舎リスト ～他市庁舎建設計画書より抜粋～

市名	玉名市	山鹿市	阿波市	四万十市	かほく市(石川)
人口	68,060	54,317	41,076	37,917	34,847
本庁職員数	387	288	324	255	229
建築年	H27	H27.9	H27	H21	H23
延床面積(㎡)	11,000	9,740	9,800	10,885	8,000
職員1人当面積	28.4	33.8	30.2	42.7	34.9

※1人当たりの平均床面積＝34㎡

【市職員数等の今後の推移】

●第5次宇土市定員適正化計画（H27年度～H30年度）によると現在の職員数258人を維持するということとなっています。

●将来本庁舎勤務の職員数：計292人

H27.4.1の職員数261人のうち、将来の本庁勤務見込数216人

〃臨時非常勤職員数170人のうち、〃 76人

【将来本庁舎勤務職員表】 ※H27.4.1現在の庁舎別職員在職表で作成

	庁舎別	職員数			備考	
			内訳			
			正規職員	臨時非常勤		
1	本庁舎敷地内	238	1階	55	23	
2			2階	20	10	育休等を含む
3			3階	29	12	
4			4階	20	2	
5			5階	10	2	
6			企画棟	10	2	企画課、選管
7			別館	8	2	
8			福祉センター	19	9	社協職員除く
9			議会	4	1	
10	網田支所		3	3		
11	網津支所		2	3		
12	保健センター	16	11	5		
13	上下水道	16	14	2	企画棟1階	
14	児童センター		2	9		
15	教育委員会	38	27	11	ALT除く	
16	中央公民館	2	1	1	非常勤特別職除く	
17	図書館	8	3	5		
18	給食センター	3	3	0		
19	宇土幼稚園	11	6	6		
20	花園幼稚園	9	7	4		
21	出向等	6	7	0		
22	教育施設	81	0	58	市内小中学校勤務	
	合計	431	261	170		
	(将来本庁勤務見込数)	(292)	(216)	(76)		

上記の職員数については、特別職3人も含む。 ※斜字は、将来本庁勤務見込数(計292人)

《参考》市庁舎現況床面積

建 物 人 称	床 面 積	単 位	備 考	分 類 (内 訳)
事務所 (本館)	2,626.74	m ²		本庁
事務所 (議事堂)	836.61	m ²		本庁
事務所 (議長室)	32.90	m ²		本庁
事務所 (特別委員会)	54.25	m ²		本庁
雑屋 (渡り廊下)	91.31	m ²		別館
事務所 (別館)	524.60	m ²	企画, 上下水道	別館
倉庫	1,127.00	m ²		その他
雑屋 (電算隣車庫)	120.00	m ²		別館
教育委員会	802.38	m ²		別館
市役所別館	837.00	m ²	まちづくり推進, 電算	別館
福祉課, 高齢者支援課	169.00	m ²	福祉センターの一部	別館
第1書庫	121.02	m ²		その他
第2書庫	115.02	m ²		その他
車庫	1,775.00	m ²	総務省算定基準で算出	その他
合 計	9,232.83	m ²		

※車庫…公用車71台×25m²で積算し, 1,775m²となる。

4 新庁舎の位置に関すること

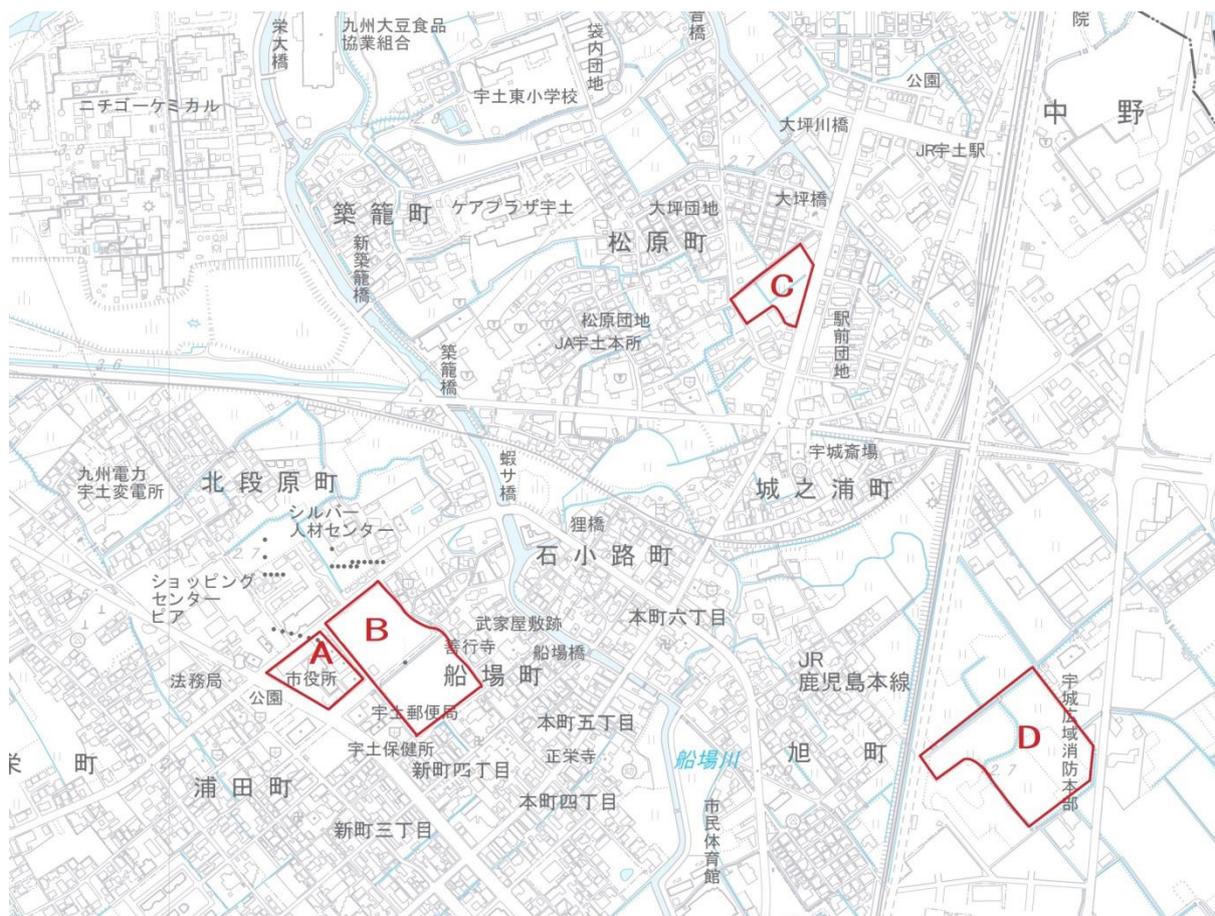
新庁舎の位置は、今後のまちづくりに大きな影響を与える問題です。

今回の調査では、経済性、利便性、地理的な要素等を考慮し、比較対象候補地を4か所に絞り検討を行いました。

なお、検討に際しては、「まちづくり」「利便性」「防災拠点として安全性」「実現可能性と経済性」の4つの観点から検討し、最後にそれぞれのメリット、デメリットを踏まえて、本調査としての結論をまとめました。

■比較対象候補地は次の4か所です。

- 現庁舎の位置 ・ ・ ・ ・ ・ A→7,256 m²
- 現職員駐車場と市民広場 ・ ・ ・ B→20,428 m²
- 宇土駅西口付近 ・ ・ ・ ・ ・ C→6,051 m²
- 宇城消防本部裏手付近 ・ ・ ・ D→25,000 m²



(1) まちづくり

①接道について

- ・ A, Cは幹線もしくは補助幹線道路に面している。
- ・ Dは主要幹線道路に面しているが、入口が狭いため幹線道路から庁舎への誘導道路を整備する必要がでてくると思われる。
- ・ Bは生活道路に面している。道路幅員は若干狭い。

②周辺地域の発展性

- ・ すべての候補地は市街地区域内にある。
- ・ この中で、地理的に見て市街地中心を本町3丁目交差点と考えるとCはやや離れた位置に、Dはかなり離れた位置となる。
- ・ また、Dの徒歩圏内（半径500メートル以内の居住数）からして、候補地の中ではもっとも評価が低くなる。
- ・ Cに関しては、宇土駅周辺の発展に寄与する可能性がある。
- ・ A, Bは中心市街地にもっとも近く、発展性に関しては現状維持できる。また、現庁舎があるA付近から移動した場合、中心市街地の衰退が危惧される。

③緑地について

- ・ A, Bは既存の植栽が存在するものの、更なる植栽および整備が必要である。
- ・ C, Dについては、比較的大掛かりな緑地整備を要すると考えられる。

④環境保全について

- ・ C, Dは土地の造成工事が必要である。また、Dについては、隣接農地への被害も考えられるが、現農地は大坪川の調整池的な役割を担っているため、広く造成を行った場合、大雨時など周辺地区への水害が懸念される。

⑤関連計画（都市マスタープラン、市街地活性化計画等）との整合性について

- ・ Dについては、位置や周辺の施設等建物の状況から発展性が困難であるため、大規模な開発が必要と思われる。

(2) 利便性

①市民窓口サービスについて

- ・ 今後高齢化が進むと多くの方が、徒歩で来庁されると思われる。徒歩圏内の観点から考えると、Dは市民にとって最も不便であると思われる。

②公共交通について

- ・ CについてはJRから近距離であるため、宇土西部方面又は市外から公共交通機関を利用したアクセスは現在よりも良くなる。
- ・ 路線バスでのアクセスはA～Dほぼ変わらない。

- ・ JRについてはCが最も近距離であり, Dは地図ではA, Bと比較すると近いが, 徒歩での往来には不便であり, 道路の整備が必要になると予想される。

③自動車交通について

- ・ Cは十分なスペースのある駐車場が確保しづらい。用地買収の負担がかかる。
- ・ Dは国道3号線, 県道14号線の交通渋滞が懸念される。また, 消防署の近くということも交通事情に多少なりとも影響を及ぼすと考えられる。

④自転車・徒歩での来庁について

- ・ 半径500メートルの居住数で利便性を比較すると, $A=B > C > D$ の順で多くなっていると思われる。

⑤他公共施設等との複合的なサービスについて

- ・ 官公庁施設が集約しているのはA, Bである。
- ・ また, 現在の中心商店街と近距離にあるのもA, Bである。
- ・ Dについては, 大型ショッピングセンターが近距離にある。

(3) 防災拠点としての安全性

①類焼からの安全性について

- ・ Dは比較的, 周辺に建物が少なく類焼の可能性は低いと思われる。
- ・ A, B, Cは住宅地に接しており, 特にA, Bは類焼の可能性が高いので, 想定した建築設計を考える必要がある。

②地盤について

- ・ A, Bは河川氾濫による浸水想定区域が0.5~1.0mである。候補地の中では最も被害が少ないと思われる。
- ・ C, Dについては, 馬之瀬町から新松原町にかけて, 大坪川による影響で, 重要水防区域Aランクに指定されており, 浸水被害が大きいと考えられる。

(4) 実現可能性と経済性

①用地について

- ・ 用地買収を必要とするのはC, Dである。

②建設事業について

- ・ B, C, Dは庁舎引越しにかかるコストがかかるが, 仮庁舎を建設する必要がない。
- ・ Aは仮庁舎の建設が必須であり, 引越しコストもある。

- ・駐車場の整備コストはすべての候補地に生じると考えられるが、A、Bは現在の駐車場を利用するなど、低コストに抑えられる。
- ・近隣に住宅の多いA、Bは、建設時の騒音や交通への影響が懸念される。
- ・仮庁舎での対応となるAは、建設中にかかる、来庁者への影響が大きい。

③インフラ整備について

- ・周辺道路等の整備について最もコストがかかるのはDだと考える。

(5) 候補地についてのまとめ

A（現庁舎）、B（現職員駐車場と市民広場）での建替え案

- ①中心市街地に近く、更なる貢献を図りやすい。
- ②公共施設も集約しており、連携が容易である。
- ③用地買収経費がかからない。
- ④移転経費（引越し）のコスト・労力ともに抑えられる。
- ⑤中心市街地から徒歩圏内であり、地盤・地理的な面から防災拠点になりうる。
- ⑥住居に近接していることから、工事中の騒音や、遮光問題が生じうる。
- ⑦Bでの建て替えであれば、仮設庁舎が不要になる。

C（宇土駅西口付近）、D（宇城消防署裏手付近）での建替え案

- ①Dは、庁舎や駐車場のゆとりある配置がとれる可能性がある。
- ②主要幹線（国道3号線、国道57号線、県道14号線）の交通渋滞を招く恐れがある。
- ③交通量の多い主要幹線付近であれば、騒音・排気ガス等の公害が懸念される。
- ④中心市街地の空洞化、衰退につながる恐れがある。
- ⑤用地買収費や移転経費のコストが大きい。
- ⑥中心市街地から離れており、徒歩圏内とは言いがたいが、西部地区からJRを利用する場合は便利である。
- ⑦水災害に遭う危険性が高いため防災拠点としては疑問がある。
- ⑧Dは、家屋火災による類焼からの安全性がある。
- ⑨土地の造成工事や道路の整備等、インフラ整備にもコストがかかる。

以上、総合的に判断すると、**A（現庁舎）、B（現職員駐車場と市民広場）の土地を一体として考え、庁舎や緑地部分、駐車場などの位置を市民の利便性を考慮した上で建設することが最良だと思われ**ます。

5 その他公共施設再整備に関すること

本市では、平成 28 年度中に、市役所本庁舎を含めた公共施設の整備について、市民の利用状況等を調査・分析し、中長期的な視点に立って効率的に運用できるように公共施設等総合管理計画を策定することとしております。

また、その中においても、新庁舎建設に係る行政機能再編による跡地の利活用などについて検討していくこととしております。

6 新庁舎建設スケジュール

本庁舎の現状を踏まえると、災害対策本部としての機能を早期に確立するとともに、市民の利便性向上など早期に解決することが必要です。そのようなこともあり、新庁舎建設のスケジュールを次のとおりとします。

ステップ	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度
基本構想 (案)	⇔						
基本構想・基本計画策定		⇔					
基本設計・実施設計・施工業者選定				⇔			
新庁舎 建設工事					⇔		
供用開始							○
旧施設の解体工事・外構工事							⇔

資料2 宇土市庁舎建設基本構想（案）に関する答申

宇土市庁舎建設検討委員会は、平成27年9月7日に宇土市長から「宇土市本庁舎建設の基本構想（案）」について調査、審議するよう委嘱を受けて発足しました。

委員会は、学識経験者及び市内各種団体の代表者など計7人により組織され、宇土市の新庁舎建設における「庁舎の機能、規模、位置など」利用される市民の立場に立ち、各種専門的な視点も入れながら議論してまいりました。

まず、現在の庁舎は築50年を迎え、老朽化も激しく耐震性にも大きな課題があるとのことでした。前提条件として市庁舎は、災害時には市民の安全確保のため司令塔として対応する必要があることは言うまでもありません。現庁舎は構造上の問題により耐震補強を行うことが困難ということで、委員会の意見として建て替えということで一致し、議論を進めていくこととしました。

その他、審議を進めていく過程で、新庁舎の「まちづくり機能」の必要性についても共通理解を得たように思います。「50年後の将来を見据えた庁舎に」という要望は委員共通の願いですが、将来の宇土市や日本の姿を「成長社会」とみるか「成熟社会」とみるかで、新庁舎の位置や機能、併設施設の内容にも違いがでてくる可能性もあり、この問題については未解決のまま残されています。

なお、市庁舎の建設については、今後の宇土市のまちづくりなど市民生活へも大きな影響があります。そのため、市民に対しての説明など、今後も十分に市民参画を図りながら進めていただくようお願いいたします。

最後に、委員会においては、後述意見のほかにも、様々な意見が出されました。今後、宇土市において策定される基本構想、基本計画に反映していただくことを委員一同願い、別に添付する委員会議事録と併せて委員会からの答申として報告します。

平成28年2月

宇土市庁舎建設検討委員会
委員長 内丸 恵一

①基本理念・方針及び新庁舎の機能について

新庁舎の機能における防災拠点の充実の部分について、災害時には市民の避難場所として使用できる機能を加えること。

また、利便機能及び市民活動支援機能の部分では、多くの市民が集えるように交流や情報発信できるスペースなど、複合的な機能を持った施設としても検討していただくようお願いいたします。

②新庁舎の規模について

宇土市庁舎建設基本構想（案）では、将来本庁舎に在籍する予定の職員数で規模が算出されています。

新庁舎の規模を検討するにあたっては、前段の機能の部分でも記載があるように、他の公共施設との複合化も視野に入れた規模で検討していただくようお願いいたします。

③新庁舎の位置及び公共施設再整備について

位置については、少子高齢化が進む中で市民の利便性や将来的に中心市街地がどう形成されているかなどを十分考慮することが必要であると考えます。

基本構想(案)では、市内4箇所を建設候補地としてあげてありますが、上記視点を踏まえ、再度候補地を広げて検討していただくようお願いいたします。

④新庁舎建設スケジュールについて

現庁舎の耐震性の課題を前提に考えると、早急に新庁舎建設に向けて進めていくことが望ましいと考えます。

しかしながら、近年の建設業界の傾向として、東日本大震災の復興事業、東京オリンピック特需及び、円安による輸入建設資材の高騰や作業員不足などにより建設費が上昇し続けている状況です。

そこで、市の財政負担を考慮すると、一定期間スケジュールを後ろ倒しすることも視野に、再度検討をしていただくようお願いいたします。

資料 3 宇土市新庁舎建設に関するアンケート調査の結果

アンケート調査概要

(1) 目的

市庁舎の建て替えについて市民の意見を収集し、新庁舎建設に向けての資料として活用することを目的とする。

(2) アンケート方法

調査地域・・・宇土市内全域

調査対象・・・宇土市内に在住する満 20 歳以上の男女 2,000 人

抽出方法・・・無作為抽出

調査方法・・・郵送配布・郵送回収

調査期間・・・平成 28 年 4 月 14 日～5 月 31 日

(3) アンケートの配布及び回収結果

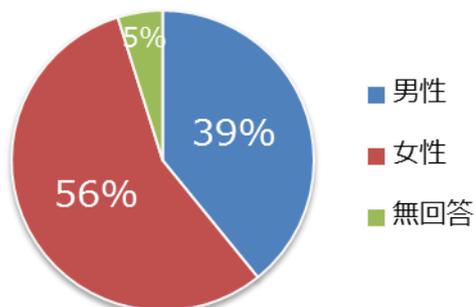
発送数・・・2,000 通 (うち宛先不明返送分 2 通)

回収数・・・416 通

回収率・・・20.8%

回答者の属性

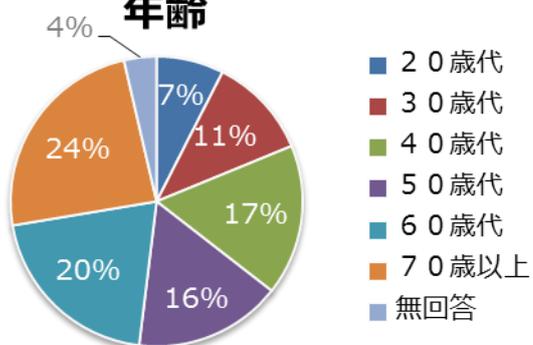
性別



性別

男性	163
女性	233
無回答	20
合計	416

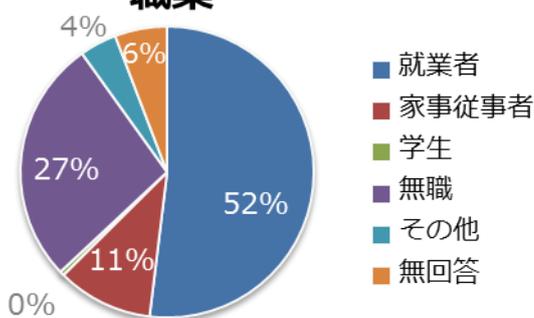
年齢



年齢

20歳代	31
30歳代	47
40歳代	70
50歳代	68
60歳代	85
70歳以上	100
無回答	15
合計	416

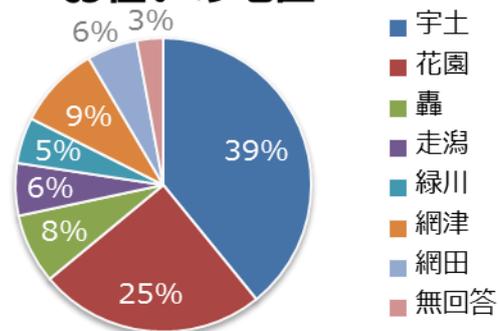
職業



職業

就業者	216
家事従事者	44
学生	2
無職	113
その他	17
無回答	24
合計	416

お住いの地区



お住いの地区

宇土	163
花園	103
轟	32
走潟	24
緑川	21
網津	38
網田	23
無回答	12
合計	416

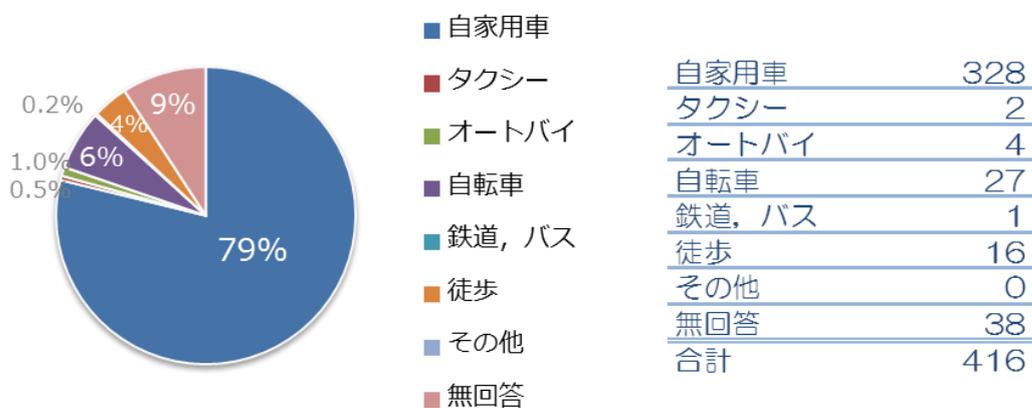
【回答】Q1. 昨年1年間で市本庁舎へ何回訪れましたか。



年間2～5回訪れている方が最多。
ただ、0回、1回や11回以上訪れている方もそれぞれ1割程度。

初めて訪れた方、何度も訪れている方の双方にわかりやすい表示が必要。

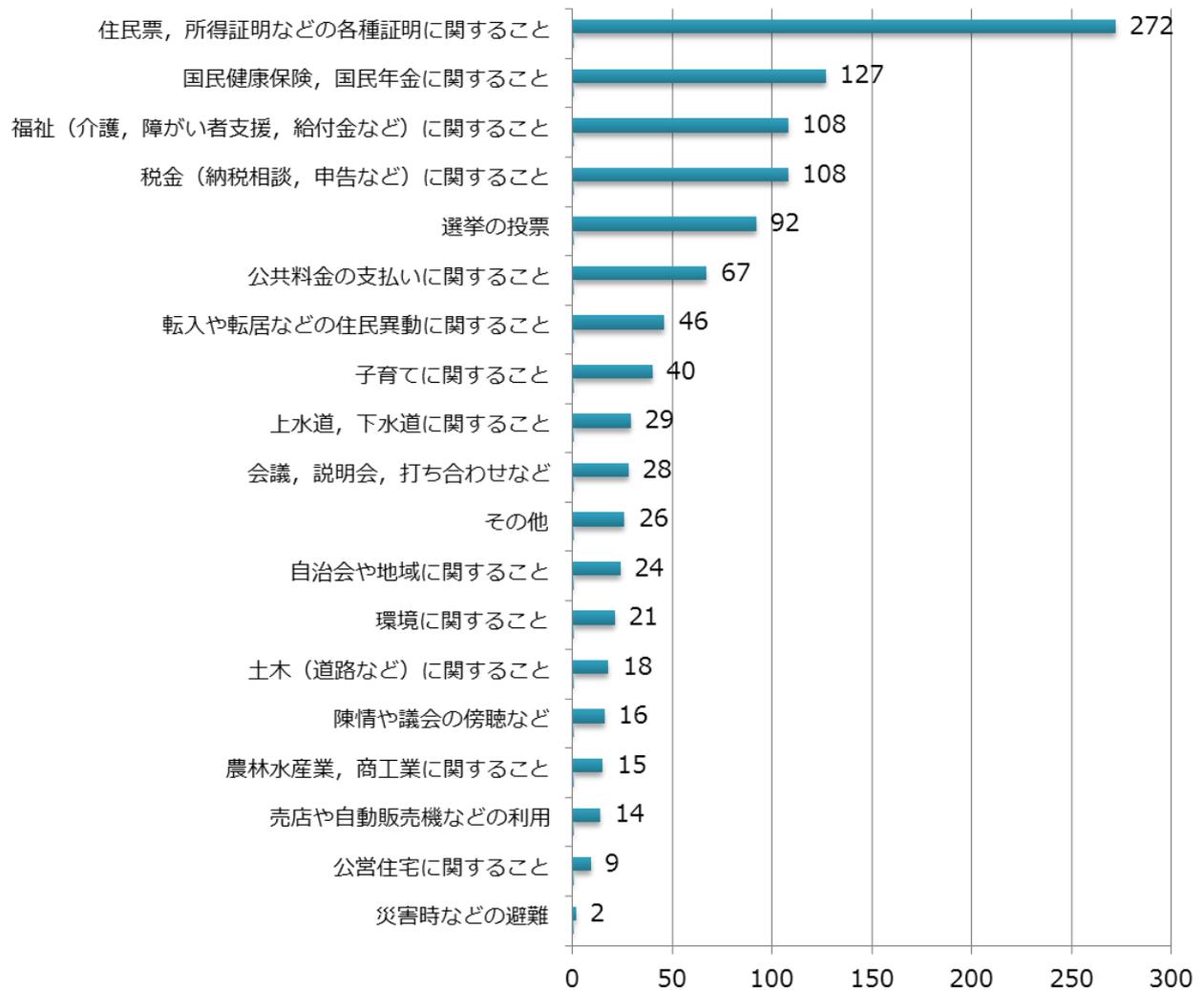
【回答】Q2. 主にどのような交通手段で訪れましたか。



自家用車（送迎も含む）が約8割を占める。

駐車場スペースを広くとることが大多数の方の利便性向上につながる。

【回答】Q3. どのような要件で訪れましたか。(n=381)



・“選挙の投票”を除く上位項目の要件が本庁舎1階と福祉センター1階で手続きが完了する内容である。

→これらの手続きが1ヶ所で済ませられるようになれば、大多数の人の利便性向上につながる。

【分析】Q3. どのような要件で訪れましたか。(n=381)

《来庁回数別》

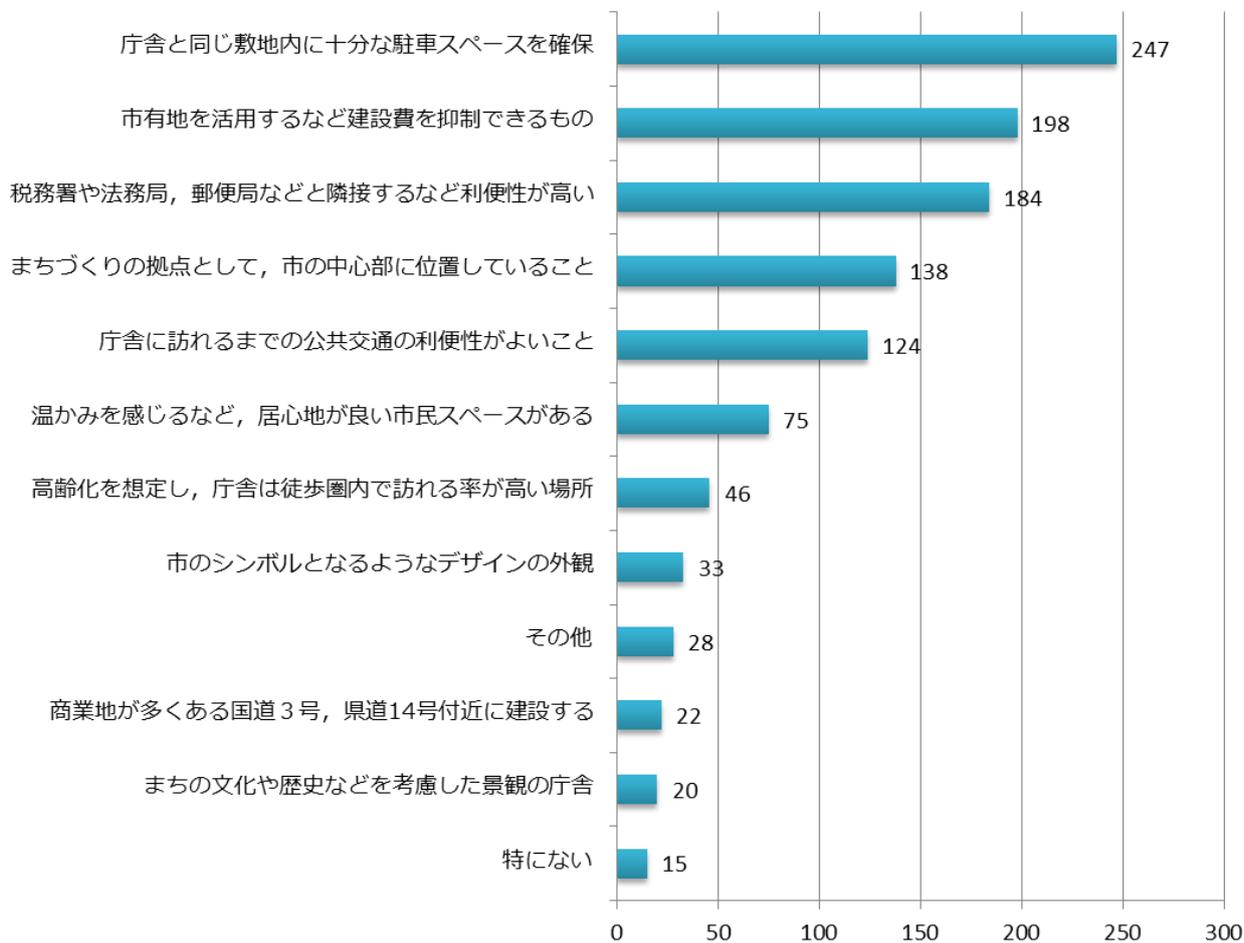
要件	無回答 (3%)	0回 (8%)	1回 (14%)	2~5回 (44%)	6~10回 (16%)	11回以上 (14%)
証明発行	9	0	29	139	55	40
国保・国民年金	7	0	10	54	33	23
子育て	1	0	0	17	15	7
福祉	3	0	12	39	25	29
税金	4	0	4	44	33	23
公共料金の支払い	2	0	3	24	15	23
上水道・下水道	0	0	0	10	10	9
転入・転出	2	0	7	17	12	8
環境	0	0	2	9	2	8
公営住宅	0	0	1	4	1	3
農林水産業・商工業	0	0	1	2	7	5
自治会・地域	1	0	0	5	7	11
土木・道路	2	0	1	3	5	7
会議, 説明会, 打ち合わせ	0	0	1	6	7	14
陳情, 議会の傍聴	1	0	1	4	3	7
売店, 自動販売機	0	0	1	7	3	3
選挙の投票	1	0	8	42	20	21
災害時の避難	0	0	0	1	1	0
その他	1	0	4	12	4	5

Pick Up!!

要件	無回答	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
農林水産業・商工業	0	0	0	2	1	5	7
自治会・地域	1	0	1	1	1	11	9
土木・道路	2	1	0	2	1	7	5
会議, 説明会, 打ち合わせ	2	0	0	4	3	10	9
陳情, 議会の傍聴	2	0	0	1	0	8	5

- ・全体の7割を占めている来庁回数5回以下(年間)の方は, 本庁舎1階と福祉センター1階で手続きが完了する傾向にある。
- ・農林水産業や土木関係, 自治会などの要件は年間の来庁回数が多く, かつ60歳以上の方が来られている傾向にある。

【回答】Q4. 新庁舎の建設を進めるにあたり重要と思うものを3つまで選んでください。(n=416)



【その他の意見】

分類	回答数	意見
建設位置	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在地がよい。3号もよいが、本町アーケードがますます寂しくならないか？国道が渋滞すると、逆に不便になるのでは？ ・ 宇土シティ、クロス21等から歩いていける距離に建設する。
防災・災害時	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時に対応できる頑丈な建物 ・ 震災・災害時に活用できるインフラが独立しているシステムがあること。
費用面	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要最小限度で安く作りあげること。 ・ 現在の宇土市の状況を鑑み、理解を得られるように（特に建設費用）
機能面	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しく綺麗なトイレ。個室が多いものが望ましい。 ・ 駐車方法有料方式。公用で来庁された方には駐車券を発行。職員の無料駐車は特に問題。通勤手当が支給されているはず。

【分析】Q4. 新庁舎の建設を進めるにあたり重要と思うものを3つまで選んでください。

《年代別》

	建設費抑制	公共交通の利便性	市の中心部に位置	広い駐車スペース	文化や歴史を考慮した景観	他の公共施設と隣接	徒歩圏内	市のシンボルとなるデザイン	居心地の良い市民スペース	国道3号、県道14号付近	特になし	その他
無回答	33%	20%	27%	47%	13%	27%	7%	13%	20%	7%	0%	0%
20歳代	32%	29%	35%	42%	3%	39%	10%	13%	16%	3%	13%	10%
30歳代	34%	26%	19%	72%	13%	45%	4%	15%	21%	9%	4%	4%
40歳代	49%	27%	26%	74%	0%	44%	14%	3%	19%	7%	1%	10%
50歳代	50%	32%	34%	62%	4%	47%	7%	3%	15%	4%	1%	9%
60歳代	55%	25%	41%	61%	5%	47%	7%	7%	22%	4%	2%	8%
70歳以上	52%	38%	38%	47%	4%	44%	19%	10%	15%	5%	5%	3%

Pick Up!!

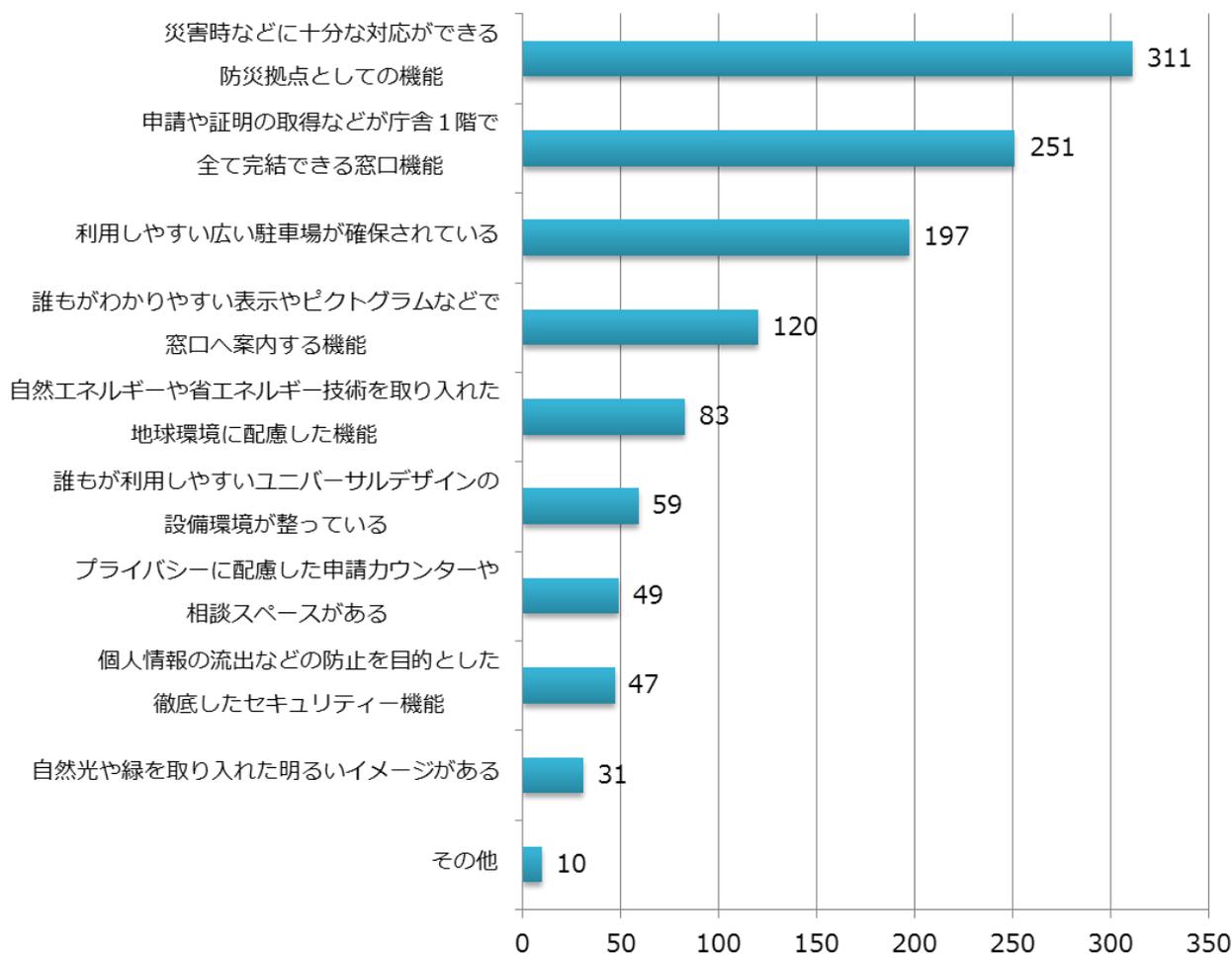
宇土	8%	無回答	1%
花園	7%	自動車	10%
轟	1%	タクシー	0%
走湯	1%	オートバイ	0%
緑川	1%	自転車	4%
網津	0%	鉄道、バス	0%
網田	1%	徒歩	4%

《地区別》

	建設費抑制	公共交通の利便性	市の中心部に位置	広い駐車スペース	文化や歴史を考慮した景観	他の公共施設と隣接	徒歩圏内	市のシンボルとなるデザイン	居心地の良い市民スペース	国道3号、県道14号付近	特になし	その他
無回答	17%	17%	25%	33%	8%	25%	8%	17%	25%	0%	0%	0%
宇土	53%	28%	37%	54%	6%	51%	12%	10%	14%	2%	4%	8%
花園	46%	30%	30%	62%	5%	36%	13%	2%	23%	12%	5%	8%
轟	50%	31%	38%	75%	6%	44%	16%	3%	16%	0%	6%	3%
走湯	38%	33%	25%	75%	4%	33%	8%	13%	25%	0%	4%	8%
緑川	29%	33%	48%	62%	0%	57%	10%	5%	19%	0%	5%	0%
網津	55%	34%	29%	61%	5%	37%	5%	11%	13%	8%	0%	5%
網田	43%	35%	22%	57%	0%	57%	4%	13%	22%	13%	0%	9%

- ・全体の6割の方が広い駐車場スペースを望んでいる（現在の駐車場では狭いと思われる）
- ・“建設費の抑制”についての要望は多く、特に年齢が上がるにつれ、その割合が増加している。
→デザイン重視ではなく、シンプルな構造の庁舎にすることで災害に強く建設費も抑えられると思われる。また、民間資金の活用なども視野に入れ、検討すべきである。
- ・若い年齢層や庁舎から離れた場所にお住まいの方が、他の公共施設と隣接した位置への建設を希望されている。
→就業者や遠くから来られる方は一度に全ての用事を済ませたいと思われる。

【回答】Q5. 新庁舎における機能として、重要と思うものを3つまで選んでください。(n=416)



【その他の意見】

分類	回答数	意見
防災・災害時	3	<ul style="list-style-type: none"> ・三階建てまでとどめておくこと。 ・防災機能等の有する施設にすることなど、聞こえはいいが、市役所職員が優遇されると市民の理解が得られないので、良く検討してください。
機能面	3	<ul style="list-style-type: none"> ・証明書発行や手続きのスピードアップ ・図書館の併用
セキュリティー	3	<ul style="list-style-type: none"> ・入室の制限ではないが個人情報流出対策 ・個人情報の管理を厳しくしてもらいたい
駐車場	2	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地が狭いなら立体駐車場を検討しては？ ・市職員はどこにマイカーを止めているのか。いつもなぜ満車？ ・駐車場が広いといい

【分析】Q5. 新庁舎における機能として、重要と思うものを3つまで選んでください。

《年代別》

	防災拠点	窓口集約	プライバシー配 慮	広い駐車場	わかりやすい表 示	自然や緑	ユニバーサルデ ザイン	環境配慮	セキュリティ	その他
無回答	40%	33%	13%	33%	13%	27%	7%	13%	7%	0%
20歳代	87%	52%	10%	32%	26%	13%	35%	6%	16%	0%
30歳代	77%	55%	17%	51%	23%	13%	15%	21%	11%	4%
40歳代	80%	53%	14%	51%	33%	6%	21%	16%	13%	6%
50歳代	84%	63%	13%	50%	24%	4%	6%	26%	15%	1%
60歳代	74%	59%	12%	56%	32%	7%	12%	22%	9%	0%
70歳以上	68%	76%	9%	41%	35%	4%	11%	21%	9%	3%

Pick Up!!

宇土	19%
花園	11%
轟	8%
走湯	2%
緑川	1%
網津	5%
網田	2%

《地区別》

	防災拠点	窓口集約	プライバシー配 慮	広い駐車場	わかりやすい表 示	自然や緑	ユニバーサルデ ザイン	環境配慮	セキュリティ	その他
無回答	25%	25%	8%	17%	17%	25%	8%	25%	8%	0%
宇土	78%	63%	13%	48%	26%	6%	13%	21%	14%	2%
花園	72%	61%	16%	52%	29%	6%	15%	20%	13%	5%
轟	75%	63%	9%	63%	34%	9%	6%	16%	6%	3%
走湯	83%	63%	13%	50%	21%	17%	8%	29%	4%	0%
緑川	86%	67%	5%	29%	48%	0%	29%	10%	5%	0%
網津	76%	53%	5%	47%	34%	11%	21%	18%	5%	3%
網田	78%	65%	13%	30%	35%	9%	17%	17%	17%	0%

・地震の影響により、“防災拠点”としての機能を望む声が7割

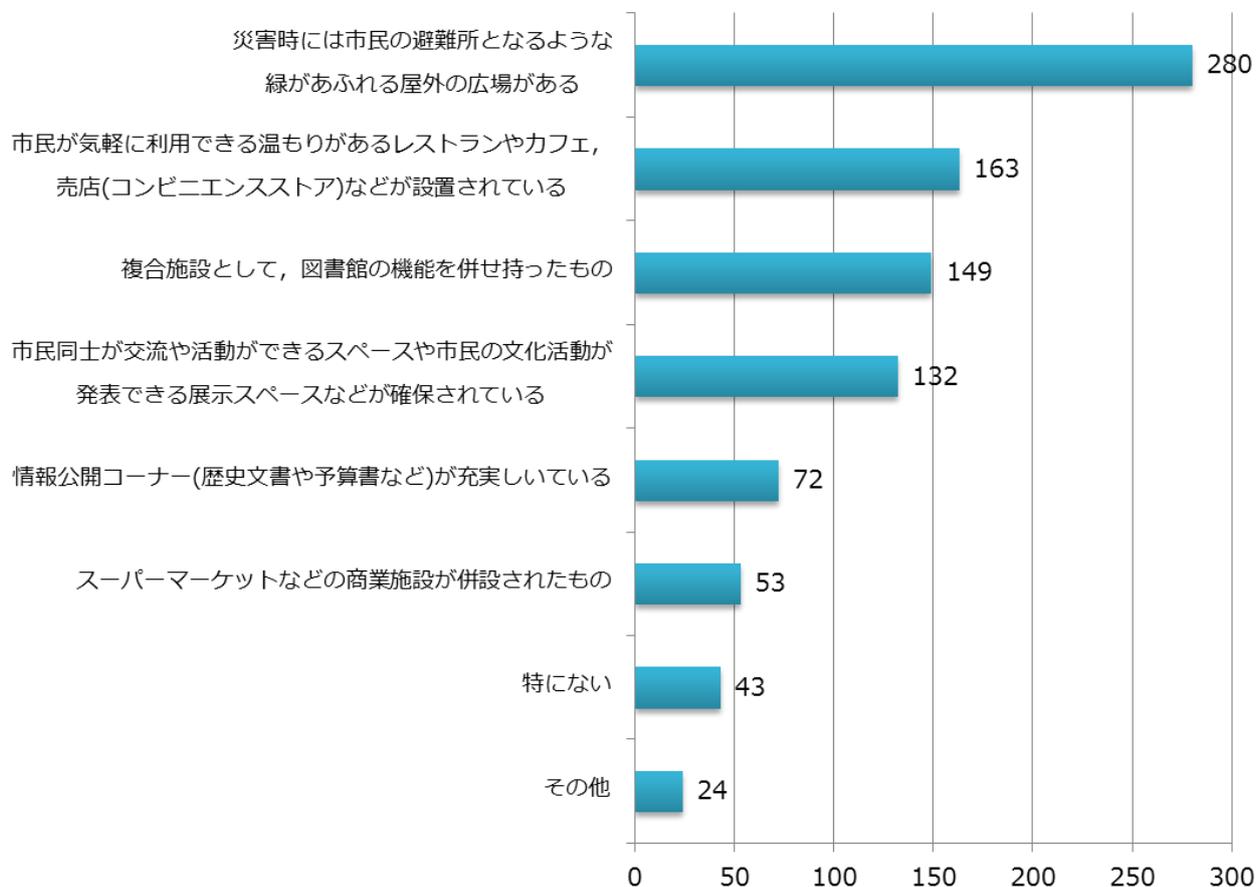
→今回、庁舎が被災して防災拠点としての機能を果たせなくなっており、災害に強いシンプルな構造の庁舎の建設を望まれている。

・年代や地区にかかわらず“窓口集約”，“広い駐車場”を望む声が多い。

→現状では、本庁舎以外に福祉センターや教育委員会が別棟にあり、窓口が集約できていない。そのため窓口を1ヶ所に集めることで、利便性の向上につながる。

→市庁舎は慢性的な駐車場不足になっているので広い駐車場スペースの確保が必要である。また、60歳以上で市役所周辺にお住まいの方も広い駐車場を望まれている傾向にある。

【回答】Q6. 新庁舎の行政サービス以外の機能として併せて備えたい機能と思われるものを3つまで選んでください。(n=416)



【その他の意見】

分類	回答数	意見
複合化	13	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の機能はあれば便利かもしれないが行政サービスを重要にしてもらいたい。 ・役所の中にレストラン・マーケット等は必要ないと思う。 ・図書館や歴史資料館は隣接して別棟が利用しやすい。 ・行政サービス以外を備えるとなればUTOシティに庁舎を入れてみてはいかがでしょう？
機能面	7	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外情報公開スクリーンの設置 ・若い子育て世代が親子で利用できる子育て支援機能があるスペース
防災・災害時	3	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時ヘリが着陸可能なスペース, シェルター, 備蓄倉庫等 ・一般市民公募の防災対策課が必要
その他	3	<ul style="list-style-type: none"> ・緑があふれ, 人を引きつける空間が欲しい ・庁舎周辺の植物は市の花あじさいを全面にだしてほしい

【分析】 Q6. 新庁舎の行政サービス以外の機能として併せて備えたい機能と思われるものを3つまで選んでください。

《年代別》

	交流・展示スペース	レストラン・カフェ	複合施設 (図書館)	避難所となるような屋外広場	情報公開コーナー	商業施設	特になし	その他
無回答	53%	47%	60%	40%	13%	7%	0%	0%
20歳代	23%	39%	32%	71%	13%	10%	13%	0%
30歳代	15%	47%	47%	72%	11%	19%	6%	9%
40歳代	29%	50%	47%	73%	11%	13%	7%	6%
50歳代	38%	35%	29%	72%	16%	13%	7%	7%
60歳代	26%	34%	36%	66%	26%	15%	7%	8%
70歳以上	43%	35%	24%	63%	20%	9%	21%	4%

《職業別》

	交流・展示スペース	レストラン・カフェ	複合施設 (図書館)	避難所となるような屋外広場	情報公開コーナー	商業施設	特になし	その他
無回答	54%	46%	42%	58%	25%	4%	8%	0%
就業者	26%	42%	40%	71%	15%	15%	8%	7%
家事従事者	27%	39%	27%	61%	18%	11%	11%	9%
学生	0%	50%	50%	100%	0%	0%	0%	0%
無職	39%	32%	27%	65%	20%	12%	15%	3%
その他	47%	53%	53%	65%	12%	12%	18%	12%

《地区別》

	交流・展示スペース	レストラン・カフェ	複合施設 (図書館)	避難所となるような屋外広場	情報公開コーナー	商業施設	特になし	その他
無回答	58%	50%	67%	42%	8%	8%	0%	0%
宇土	34%	38%	34%	74%	17%	12%	10%	6%
花園	30%	34%	40%	68%	15%	11%	11%	9%
轟	19%	38%	19%	59%	16%	13%	22%	3%
走湯	46%	50%	29%	63%	25%	17%	13%	4%
緑川	29%	57%	48%	71%	29%	24%	10%	0%
網津	34%	42%	26%	63%	16%	8%	8%	8%
網田	17%	39%	48%	52%	26%	26%	4%	0%

- ・地震の影響により、“避難所となるような屋外広場”を望む声が6割。
- ・全世代を通して、“レストラン・カフェ”，“複合施設”を望む声が多い。
70歳以上になると“交流・展示スペース”を望む声の割合が増える。
→行政機能と他の施設との複合化は、利便性の向上の面で重要になってくるため、検討を行う必要がある。
→今後、ますます高齢化が進んでいくため、交流・展示スペースを希望する人の割合が増えていくことが予想される。

【回答】Q7. その他、新庁舎建設に関してご意見があれば自由にお書きください。（記述式）

分類	回答数	意見
耐震性 ・ 防災	40	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の地震のように甚大な被害があればその修復のため莫大な経費がかかります。市民の生命、生活を守るためには緊急災害情報システムが完備された庁舎が必要だと思います。情報がすべての人にいきわたるよう工夫してください。 ・ 利便性が良いコンパクトの建設。大きい建物はいらない。 ・ 災害が起こったときにも庁舎に行けば安心と思えるように、一時的にでもいいのでインフラの独立性を持った機能を有してほしい。また、救急に対応できるようヘリポートが屋上にあればいいと思う。震災を教訓とした（福島・阪神）で参考となる情報を収集し、建設に取り組んでほしいと思います。 ・ 今回地震後、防災無線にて情報を流されていたと思いますが、何と言っているのか全く聞き取れず、テレビにも宇土市の情報が流れなかった。防災無線に変わるシステムの構築を是非してください。（防災無線をはっきり聞き取れない地域が多いようです）万が一庁舎が災害等で使えなくなったときに代わりとなる拠点市議会棟・本庁舎は機能的なものであれば外観に凝らなくてもいいのではないのでしょうか。
機能面	28	<ul style="list-style-type: none"> ・ 銀行のATMは庁舎の中が好ましいです。（子供が車いすのため広いスペースだと助かります）また、トイレ（身体障害者用のベッドがあるやつ）の充実を希望します。障害のある子の避難できるスペースを必ず作ってください。今回の震災で熊本市に避難しました。どうぞよろしくお願い申し上げます。 ・ 貸し会議室のサービスがあるといい。但し、ネット予約など使いやすいもの。 ・ 育児中のママたちが遊べる広場・公園も作ってほしい。 ・ 新庁舎は本部としての機能を充実させるべきで、一般市民が大方必要としている業務は支所等を充実し、そちらで済ませるシステムを導入する。（支所に限らず民間PFIの活用）またインバウンド対策として、免税店や宇土物産館等の併設が絶対に必要と思う。
費用面	17	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の現状を考えて、市民に負担がかからないように経費を節約してほしい。 ・ 財政的な問題もあると思いますので、必要最小限の市民サービスが受けられる庁舎にしてほしいと思います。また、庁舎として過大な箱物を作らないで欲しい。 ・ 現在世界的に経済不況状態の中、裕福な生活は望んでいない。今だからこそ、原点に戻り、個人個人が創意工夫し、質素に、人との関係を豊かにして、これからの子供たちの教育を熱心に図り、決して贅沢・無駄のない市政を作り、どこにも負けない様な宇土市民が誇れる新庁舎を望みます。宇土市の経済のレベルがどのくらいの位置にあるのかわからない。 ・ 税金での建替えのため、必要な予算で建て替えてほしい。最近良くテレビで物（備品等）を豪華にしすぎている県があるが、必要最低限でしてほしい。

分類	回答数	意見
位置	17	<ul style="list-style-type: none"> ・今の建物を崩して同じ場所に建替え。今回のように主庁舎が崩れた時にバックアップできるサブ庁舎を建ててください。古い公共施設（公民館、図書館）をつぶして他の所にもっと広い、サブ庁舎（公民館、図書館）を作ってはどうか。 ・市中心部付近でできるだけ放射状に道路が利用できる地域が望ましい。 ・合同庁舎および、郵便局と隣接するということが一番大切です。東方面へ移設した場合、市役所～合同庁舎の用事で動く場合、特別不便となる。新市役所が東方面へ移動しても、税務署・法務局は同時移設しない。
早期建設	12	<ul style="list-style-type: none"> ・早く建ててください。コストがかかるデザインは避けていただきたいです。 ・早く新庁舎建設してほしいです。崩れそうでこわいので近寄れないです。 ・早急に建設すべき。耐震を第一に考え、コンパクトで機能的な庁舎。寄付金集めにしても、品物を買ってもらう等いろんな方法を検討してはいかがですか。
複合化	11	<ul style="list-style-type: none"> ・現在高3の娘が勉強のため図書館をよく利用していますが、宇土の図書館は城南、不知火に比べ暗い感じがすると、行きたがりません。複合施設としてぜひ考えていただきたいと思います。 ・現在の市役所は棟が分かれており、どこに何かがあるのわかりづらいところがあるので、1つの棟に集約し、わかりやすいと助かります。また、今回熊本地震もあり、防災関係も充実させてほしいです。（防災倉庫、テント、かまど、ベンチ、防災トイレ、ソーラー照明） ・全ての部署を一カ所にまとめる必要はない。例えば、宇土シティの旧サンコー跡など空いている。そう言うところに市民課棟を移してもいいのではないかと。駐車スペースも十分ある。利便性は高い。
その他	17	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的弱者にやさしい作りを希望します。 ・他市町の庁舎に負けない近代的な外観をもたせる。 ・市と市議会だけで話を進めないでほしい。市民代表20名程度で参加できればいいと思う。 ・毎回来庁し思うことですが、接遇に関してもう少し徹底してほしいです。上から目線対応の職員の方がやはり多く感じます。庁舎に行くことは必要性があって行くわけなので、もう少しやさしい温かみのある対応が欲しいです。

【考察】 今後の新庁舎建設について

“災害時に防災拠点となり，人々に安心感を与える庁舎”
を望まれている。

→全設問を通し，災害・防災関連の意見が多く，「防災拠点」になる庁舎の建設を進めていかなければならない。

・新庁舎の位置について

- 新庁舎は「税務署や法務局，郵便局などと隣接するなど利便性が高い場所」という回答が多く，逆に「商業地が多くある国道3号，県道14号付近に建設する」という意見は少なかった。
- 事業費を抑えるためには，用地買収が不要な土地を建設地にする必要がある。

・新庁舎の機能について

- 「申請や証明の取得などが庁舎1階で全て完結できる窓口機能」の要望が多い。分析によると約7割の方は，来庁頻度が低く，庁舎1階でほとんどの要件が済んでいる。
- 逆に，来庁頻度が高い方は，自治会や農林水産業，打ち合わせなどで来庁されており，庁舎1階以外の場所へ訪れることも多い。また，その大部分が60歳以上の方たちである。
- そこで，庁舎1階の窓口機能は，初めて訪れた方でも分かりやすく，かつ，手続きが一度で済むような機能を検討する必要がある。また，そのほかのフロアは，エレベーター等での移動手段の確保や打ち合わせコーナーの充実を検討する必要がある。

資料4 宇土市庁舎建設市民ワークショップでの意見

1. 概要

庁舎建設市民ワークショップは、公募市民と、各種団体又は法人の関係者等、本市の職員の計15名で構成されました。

検討に際しては、学識経験者をコーディネーターとして迎え、適宜コメントをいただきながら進めてまいりました。

○検討方法

グループディスカッション（1グループ5名×3グループ）

○検討テーマ

「福祉・子育てグループ」「防災・減災グループ」「未来・利便性・まちづくりグループ」の3グループに分け、各グループで新庁舎に備えるべき機能として必要なものを検討しました。

2. ワークショップの内容

【第1回】 平成28年11月11日（金）14：00から 宇土市保健センター2階会議室

- 1 ワークショップの運営方法について
- 2 宇土市庁舎建設基本構想素案の説明
- 3 住民アンケートの分析結果の説明
- 4 ワークショップ 課題の抽出



【第2回】 平成28年11月17日（木）14：00から

宇土市防災棟会議室

- 1 ワークショップ 課題に対する解決策の検討

【第3回】 平成28年12月 2日（金）14：00から 宇土市防災棟会議室

- 1 他市庁舎視察の事例共有
- 2 ワークショップ 新庁舎に備えるべき機能のまとめ

【第4回】 平成28年12月22日（木）14：00から 宇土市仮設庁舎2階大会議室3

- 1 各グループごとに意見発表

3. ワークショップでの意見・提案

ワークショップの中で、市民の皆様が普段感じていること、新庁舎に備えるべき機能など様々な意見・提案をいただきました。

<福祉全般に関する意見・提案>

- 手すりの工夫（格子手すり，平手すり）※丸手すりの他に
- 新しい総合病院をヒントに
- ドアはスライド式に

<休憩室に関する意見・提案>

- 急病人に対応できる保健室としても利用
- BGMがあると快適
- 周囲から見られないベッド・トイレ・水がある所
- 手洗い，鏡はつける（トイレもあれば）
- ベッドとソファでゆったり

<トイレに関する意見・提案>

- エアータオル・うがい専用の蛇口
- 子どもと一緒に入れるトイレ
- LGBTを兼ねた多目的トイレ（マークを車いす+男&女に）
- 音や臭いの問題を解決できないか
- パウダールーム（授乳室）は男性も使えるように
- トイレにも庁舎内の様子がわかるモニターがあるといい
- 物を置く棚かフックを

<相談室に関する意見・提案>

- 丸テーブルを配置
- 個室で相談（1部屋で1相談）
- 植物や花を配置
- 音楽が流れる
- アンパンマンのビデオ（ビデオ・ブックコーナーは是非）
- たたみやカーペットの部屋もほしい
- 多動の子どもに対応できるコーナーに

<待合所に関する意見・提案>

- 北欧風のソファで待ち時間を快適に過ごす
- 順番がわかる表示がほしい
- 図書館の本返却ポスト
- 図書館の本を予約していたら受け取れる
- 空気清浄機
- イスはいろんなタイプを（個別・ソファ・ソファベッド）
- 給水スペース（ウォーターサーバー）

<キッズコーナーに関する意見・提案>

- 本来の目的からはずれないようにある程度，静かに遊べるコーナー
- 行長しゃんのぬいぐるみ
- 図書コーナー（まんが含む）
- シルバースペースも
- 今日のイベントをお知らせする掲示板
- かくれんぼができるスペース
- オープンスペースにもキッズコーナーがあったらいいな
- かべにらくがきできるコーナー
- 絵本コーナー（貸し出しもできる）
- 柔らかいスポンジみたいな積木・絵本・ビデオコーナー
- おもちゃコーナー（レゴ・ものづくり）があったらいいな
- ガチャ・ガチャがあるとちょっとは利益がでるかな
- 安全に遊べるのが基本

<喫煙所に関する意見・提案>

- 換気が効いていて，外からあまり見えない
- 明るく・罪悪感を感じない
- 近くにジュース自動販売機を
- 禁煙相談コーナー

<安心感のある庁舎に関する意見・提案>

- ガラスが少ない
- わかりやすい（使いやすい）造り
- 手洗い場所（ロビーなどにも）

- 災害時庁舎を目印に（照明）
- 備蓄多めに（水・食料）
- 防災無線の活用
- 市民が集う場所・話す場所（カフェなど）
- 自由に使える会議室
- 災害専用ダイヤル（黒電話）
- 油（ガソリン・重油）の貯蔵庫がある

<防災拠点機能に関する意見・提案>

- 黒電話や衛星電話
- 対策本部室は3階以上（市長，副市長室から直接入れる動線の確保）
- 災害対策専用室（情報発信など）
- 免震・耐震構造
- 広いスペース（一時避難）
- 議場有効活用など（災害時に議場の机，イスが移動でき，避難所として使える）

<屋内コミュニティスペースに関する意見・提案>

- 仕切られた部屋でなくて，ロビーにオープンスペースを
- 避難スペースとしても活用
- 子どもたちを職員も見守れる場所に
- 本やブロックなどで遊べる（雨の日にも）
- コミュニティスペースで各種申請が出来る（その場から離れることなく）
- 親同士が交流（情報交換）できるスペース → いろいろな人とつながる
- 子ども向けの大会などを開催
- 絵画や写真などの展示場所を併設
- 宇土の文化（小西行長など）郷土愛を育む仕掛け
- 英会話（ALTが先生）や文化教室など開催
- 太鼓教室
- 職場体験（キッズニアのような）
- おりがみ・あやとり教室

<屋外広場に関する意見・提案>

- 遊具
- マルシェ
- 地蔵祭り
- 音楽イベント（太鼓）
- 庁舎の3階からすべり台（緊急避難用としても活用）
- イベントステージ
- 自然や生物とふれあう
- 避難スペースとしても活用

4. 宇土市庁舎建設基本構想への提言

参加者の皆様からワークショップのまとめとして以下のとおり、宇土市庁舎建設基本構想への提言をいただきました。

<福祉・子育てグループからの提言>

- 窓口カウンターは子どもを連れての方，お年寄りや障がいのある方を含めて落ち着いて手続きができるスペースを設置
- 市民の様々な相談に対応するため，プライバシーに配慮した個室の相談室を設置するとともに，気軽に相談できる相談ブースや相談コーナーを設置
- 高齢の方や障がいのある方，乳幼児を連れての方に加えて，LGBTの方も含めすべての人が利用しやすいトイレを設置

<防災・減災グループからの提言>

- 市民が常に集い，防災についても学習できる場所を設置
- 安心して避難できるスペースと備蓄品の確保
- 情報の発信や早期復旧・復興に取り組める機能強化

<未来・まちづくり・利便性グループからの提言>

- カフェの設置
- コミュニティが生まれる開放的なスペースの設置
- 平日の夜間，土・日・祝日に利用できるコミュニティスペース及び貸会議室等の設置